

42. 解答 e

- a. 誤：穿通動脈の閉塞により生じる小さな脳梗塞。
- b. 誤：浸透圧性脳症のうち橋に病変がみられるもの。
- c. 誤：多発性硬化症など脱髄性疾患で起こる。
- d. 誤：軽度の虚血で大脳皮質の酸素欠乏に敏感な神経細胞のみが死滅する。
- e. 正：血管周囲腔。加齢により拡大する。

43. 解答 d, e

血流の激しい血管や極度に石灰化している部位が無信号となることを信号消失 (signal void) と呼ぶ。

- a. 誤：
- b. 誤：
- c. 誤：
- d. 正：きわめて血流に富む腫瘍。
- e. 正：組織学的には良性であるが、局所浸潤性が強く臨床的に悪性に分類される。腫瘍血管に富む。

44. 解答 d

- a. 正：上眼窩裂を通る脳神経は動眼神経 (III)、滑車神経 (IV)、眼神経 (VI)、外転神経 (VI) である。
- b. 正：顔面神経 (VII) は内耳神経 (VIII) とともに内耳道、顔面神経管を通り、茎乳突孔から出てきて顔面全体に分岐する。
- c. 正：頸静脈孔の神経部を舌咽神経 (IX)、血管部を迷走神経 (X) と副神経 (XI) が通る。
- d. 誤：舌下神経 (XII) は舌下神経管を通る。
- e. 正：正円孔は三叉神経第2枝 (上顎神経) が通る。

45. 解答 e

- a. 正：
- b. 正：
- c. 正：
- d. 正：下直筋が最も侵されやすく、内側直筋、上直筋が続く。
- e. 誤：腫大は筋腹で起こり、付着部の腱は保たれる。炎症性偽腫瘍との鑑別点。

以上、解答 42~45 は森谷 淳二会員 4797 (産業医科大学病院)